

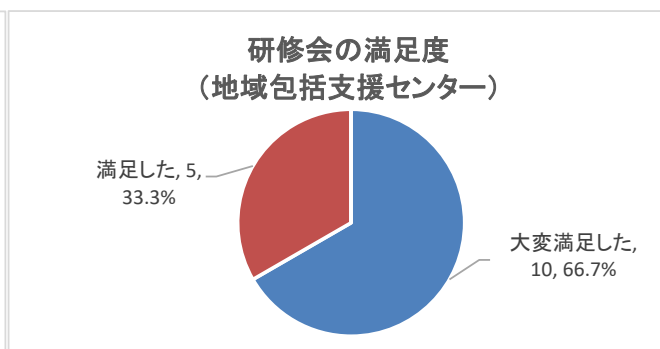
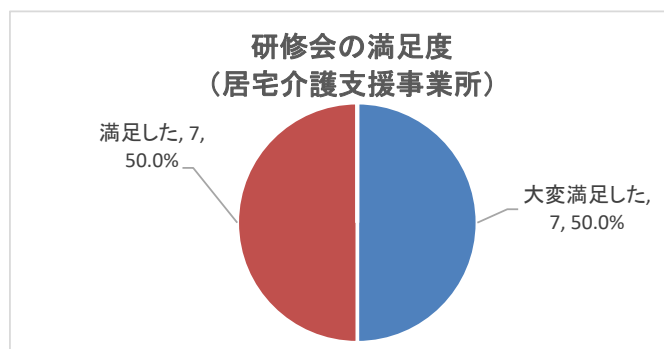
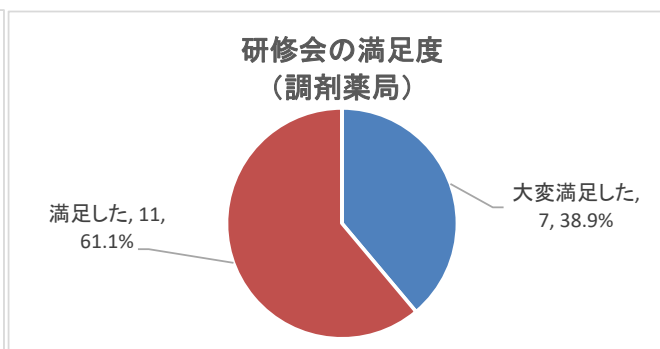
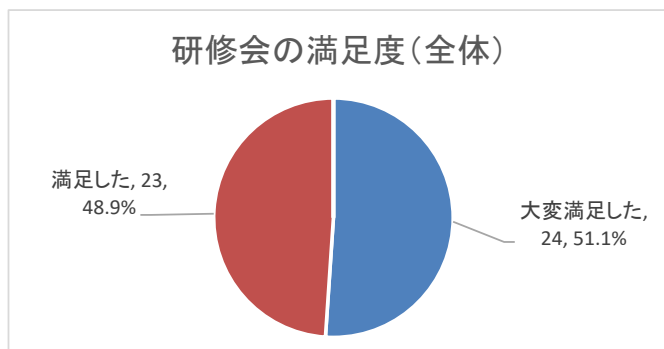
令和6年度 薬剤師会と介護事業所との合同研修会2024inにこふる

令和6年12月17日(火) 19:00~20:30 会場:にこふる

| 1.所属 | ▶申し込み | ▶参加人数 | ▶アンケート回収 |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 調剤薬局 | 23 | 22 | 18 |
| 居宅介護支援事業所 | 15 | 15 | 14 |
| 地域包括支援センター | 16 | 16 | 15 |
| 訪問介護事業所 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 7 | 7 | 0 |
| | 61 | 60 | 47 |

【アンケート結果】 アンケート回収率: 78%

| 2.研修会の満足度 | ▶大変満足した | ▶満足した | ▶どちらともいえない | ▶やや不満足 | ▶不満足 |
|------------|-----------|-----------|------------|----------|----------|
| 調剤薬局 | 7 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| 居宅介護支援事業所 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| 地域包括支援センター | 10 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| | 24 | 23 | 0 | 0 | 0 |



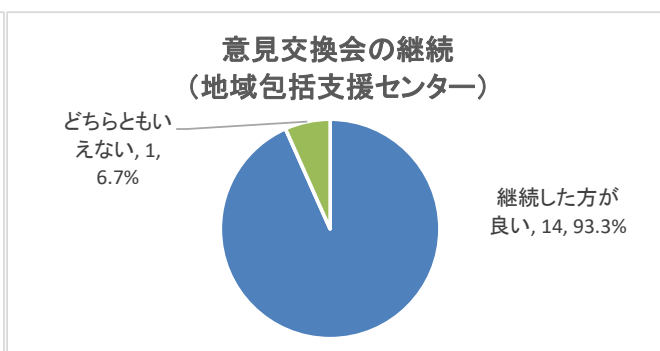
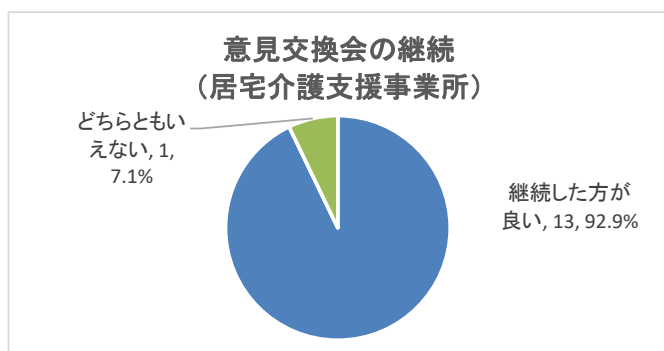
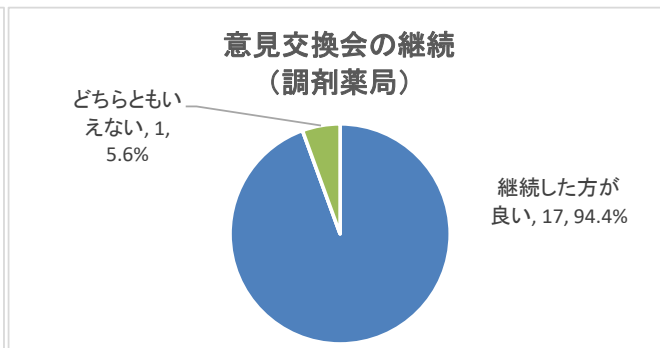
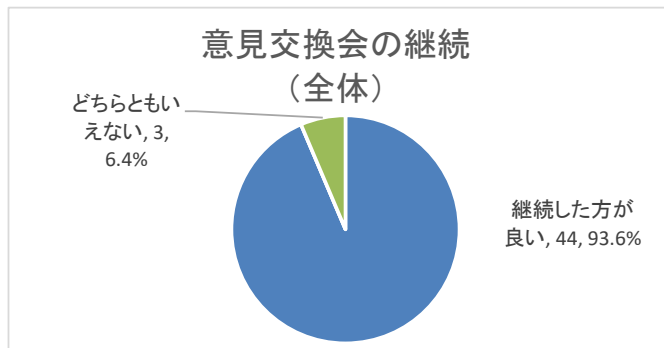
2.研修会の満足度の理由

| | | |
|---|----------------------|--|
| 調剤薬局 | 大変満足した | お互いの思うこと、知らなかったことが聞けた。同業者からも学ぶことが多かった。 |
| | | 本音ベースでの話し合いができた。 |
| | | ケアマネさんや地域包括支援センターの方と実際に交流できる場は少ないから。 |
| | | 他職種から見て、薬剤師に求められているものが何かを知ることができた。忙しい中での連絡方法や時間帯。ジェネリックについての知識。報告書にて、薬の変更内容や理由、本人の様子があるとありがたいなど。 |
| | 満足した | 連絡手段の取り方、「連絡ノート」による情報の取り方がわかった。 |
| | | 普段落ち着いて話がなかなかできない方々とコミュニケーションが取れた。 |
| 普段知ることのできないお互いの業務や疑問について情報交換できたから。 | | |
| グループリーダーとしてまとめることができなかった。 それぞれの思っていることや困っていることがわかった。 報告書の内容についての疑問を解決できたため。 | | |
| 居宅介護支援事業所 | 大変満足した | 新しい情報を得られた。 |
| | | わからなかった薬局のことを少しだけ知ることができた。 |
| | | 初めて知った内容が多くあった。今後のケアマネジメントに活かせることが多くあった。 |
| | | 薬剤師さんとの連携について、今までより気軽に連絡・相談ができると感じた。 |
| | | 薬剤師さんが普段思っていることを知れたことで、こちらの支援方法も方向性が見える。 |
| | | 薬局で利用者と薬剤師がどのようなやりとりで残薬確認、その後の対応をしているのか知ることができた。 |
| | 薬局との連携が取れそう。情報がもらえた。 | |
| | 満足した | パワポでの情報提供がよかったです。 |
| | | 普段関わることの少ない薬剤師さんとの交流が持ててよかったです。お互いの職種の違いはあるが連携しやすくなれば良いと思う。 |
| | | 薬の話ができてとてもよかったです。 |
| 薬について様々なことを聞くことができた。 薬剤師さんの意見が聞けてよかったです。 | | |
| 地域包括支援センター | 大変満足した | 直接、薬剤師さんとのやりとりをすることができ、様々な話を聞くことができたから。 |
| | | ケアマネ⇄薬剤師の困っていることを確認できた。 |
| | | いつもながら、いろいろなことを話ができてよかった。薬剤師さんから連携、顔の見える関係を作りたいと言っていただけで連絡を取っていきこうというハードルが下がった。 |
| | | お薬についての質問を大変わかりやすく教えていただいた。 |
| | | 私たちのグループはハードルがなく、質問に対しても詳しく教えてくれて本当に楽しく学べました。 |
| | | 薬剤師ができることや料金(仕組み)についてなど新しい情報を知ることができた。 |
| | 満足した | 薬の一元管理とその負担金について知ることができた。服薬ロボットについての疑問が聞けた。 |
| | | 堅苦しくなく和やかな雰囲気での話し合いができた。 |
| | | 和やかな雰囲気でのグループの話し合いができました。 |

3.意見交換会の継続

▶継続した方が良い ▶継続しなくても良い ▶どちらともいえない

| | | | |
|------------|-----------|----------|----------|
| 調剤薬局 | 17 | 0 | 1 |
| 居宅介護支援事業所 | 13 | 0 | 1 |
| 地域包括支援センター | 14 | 0 | 1 |
| | 44 | 0 | 3 |



3.意見交換会の継続の理由

| | | |
|---------------|---------------------|--|
| 調剤薬局 | 継続した方が 良い | ケアマネ等他職種の視点がわかる。 |
| | | お互いが知らなかったことを知れる。知識、意見等のすり合わせができるという点でよかった。 |
| | | 連携は進むため。 |
| | | 患者さんを通さずに思っていることを伝えられるから。 |
| | | ケアマネさんとの連携は重要であり、より関係を強化していくことで、患者さんへのサポートが手厚くできるため。 |
| | | お互いの考え方や問題解決方法等を交換できるので。 |
| | | 他に何も知らない他職種の方と話をすることがないから。 |
| | | 互いの介入内容をもっと知りたいから。 |
| | 他職種との意見交換の貴重な機会のため。 | |
| どちらとも いえない | 時々でいい。2年に1回とか。 | |

| | | |
|------------|--|---|
| 居宅介護支援事業所 | 継続した方が良い | 新しく薬剤師になる方(ケアマネも)いるのでタイムリーな情報交換ができそれぞれの課題が話せるのはいいと思う。 |
| | | 時間が短いので、知りたいことの一部分だけ知れたので他のことも知れたらよいと思う。 |
| | | 薬剤師の方と直接お話できる機会がないので。 |
| | | 薬剤師さんだけではなく他の職種間とも行いたい。 |
| | | 他の仕事内容がうかがえてよかった。 |
| | | 顔の見える関係、多職種の業務の理解 |
| | | それぞれの(互いの)業務について理解が深まり連携が図りやすくなると思います。 |
| | | 普段の疑問を聞くことができるのは参加したからだと思うので。 |
| | | 相談先や連携方法を知ることができた。 |
| | | 生命・健康・生活に直結する薬の知識を最も把握している薬剤師さんだから… |
| | | 日頃気になっていたことを直接薬剤師さんに確認することができた。 |
| | 直接相談や話ができることで知りたいことがわかる。 | |
| どちらともいえない | 訪問看護も参加した方がよいのでは？ | |
| 地域包括支援センター | 継続した方が良い | 毎回参加して、今までにない話を聞くことができる。顔の見える関係にするためによい。 |
| | | 服薬管理や連携方法の相談や質問の場。 |
| | | これからも顔と名前がわかる関係づくり |
| | | お互い仕事の内容を案外わからないでいることを知れた。 |
| | | 繰り返し参加していても毎回気づきを得られるため、継続した方がよいと思います。 |
| | | 貴重な機会だと思う。 |
| | | 様々なお話をうかがうことができてよかった。 |
| | | 参加したことのない方たちにぜひ。いつも同じメンバーばかりが参加することのないように。 |
| | | お互いのハードルを下げるため。 |
| | | 時代の流れと共に支援する人、する側も変わってくると知りたい情報や活用できる内容も変わってくると思うので。 |
| | | 利用者さん、患者さんによりよい支援ができるようになると思います。 |
| | 連携が深まることで在宅支援がさらによりよい方向へ進むと思います。(限りある資源ですが…) | |
| どちらともいえない | 介護事業所側の参加が少ないため。 | |

4.研修会に参加して「気づき」は？

| | |
|--------------------------|--|
| 調剤薬局 | 意外とハードルは感じていない。ケアマネさんからもアポを取ろうとしていたことを知った。 |
| | 薬剤師・ケアマネが顔の見える関係を築きお互いの専門性がフルに発揮できるようにしていく必要がある。 |
| | 他職種の方が普段疑問に思っていることに気づけたことによりサービスの提供をする際明確に案内ができると感じた。 |
| | 普段思っていることを聞くのは直接がいい。 |
| | ケアマネジャーが情報を欲しがっている(内容) |
| | ケアマネ側は訪問薬剤管理指導の料金的な認識がよくわかっていない？ |
| | 「時間がない」「忙しい」とお互いが思っていて、情報共有したくてもできない状態である。みんな同じ。→小さなところから共有できるようになりたい(FAX、報告書等？) |
| | まだまだ薬剤師とケアマネジャーさんの連携力を伸ばせると思いました。 |
| | お互いにどこまでしていいのかな？と思う部分が多いと感じた。 |
| | 違う視点での考え方が見えたこと。 |
| | もつつながればいいのになと。 |
| | ケアマネさんも困っていることはけっこう似ていると感じた。 |
| | 連絡方法をスムーズにすることを全員望んでいる。 |
| | 在宅担当をしていないと関わる機会がなかったケアマネさん側からの疑問や意見を聞くことで互いにハードルがあることがわかった。 |
| | 「連絡の取りづらさ」がハードルの1つとなっていると感じた。 →手段などについて意見が聞けてよかった。 |
| 居宅介護支援事業所 | 薬のことはもっと薬剤師に頼ろう。 |
| | 薬の飲み忘れをする方の対応の仕方。薬剤師さんの役割。 |
| | 利用者の状態に合わせた薬の管理の仕方。連携の必要性。 |
| | みんな忙しい。患者さんを思う目的はケアマネも薬剤師も一緒。 |
| | 薬の相談はすばやく薬剤師へする。 |
| | 内服の相談、処方では高齢者の体調・生活がよくなることを支援している。 |
| | 顔の見える関係 |
| | 情報共有のツールがNet4Uのメール機能、電話、FAXと様々あることとシートがあればよりハードルが下がると思いました。 |
| | ほたるをもっと活用したい。 |
| | 外来かかりつけ薬局の役割 |
| | 居宅療養管理指導の契約をしていなくても、かかりつけ薬局の薬剤師からサービス担当者会議へ出席してもらえること。 |
| ジェネリックの成分(周りの甘み)がそれぞれ違う。 | |

| | |
|------------|---|
| 地域包括支援センター | 薬局にもっと気軽に連絡することが次に繋がる。 |
| | 簡潔に変化を伝える。 |
| | ハードルを下げるのはお互いを知りたいからと感じた。 |
| | わからないことはしっかり質問し理解した方がいい。 |
| | 薬剤師さんがケアマネともっと連携したいと思っている。 |
| | かかりつけ薬局があった方が便利だと思った。 |
| | ハードルは本当は低いんだとわかったこと。 |
| | まず聞いてみよう！ |
| | 薬剤師さんは、ケアマネ業務を理解していない。(想像以上でした) |
| | 薬剤師さんも在宅に力を入れていることがよくわかった。 |
| | 質問、疑問に対し知らないことを知れた。ジェネリックの薬のこととか…。疑義照会をする意味とか…。 |

5.研修会に参加して取り組んでみようと思ったことは？

| | |
|------------------------|---|
| 調剤薬局 | 自身ができるサービス内容の振り返り |
| | 薬局薬剤師ができることの周知活動 |
| | 報告内容など求められている内容に沿って行っていきたい。 |
| | 連絡手段の取り方、「連絡ノート」による情報の取り方 |
| | 報告書の内容を簡潔に必要な情報を載せていきたいと思った。 |
| | 現状の推進 |
| | 一方的なコミュニケーションにならないようにしたい。ケアマネ等他職種へ要望聞きたい。 |
| | ケアマネさんに会いに行く。 |
| | ツールの活用や今日聞いたことを活かして、情報を共有したい。 |
| | 薬剤師がわかることは伝えていこうと思いました。 |
| | 情報共有とFAX、メールの活用 |
| | Net4UIについて調べようと思いました。 |
| | 情報の見える化 |
| | ツールの利用、担当者会議への参加 |
| 多職種会議への積極的参加。報告書内容の充実。 | |
| 居宅介護支援事業所 | かかりつけ薬局をもっと勧めよう。 |
| | 薬のことで悩んだら迷わず薬剤師さんに相談しようと思った。 |
| | まず相談してみる。 |
| | 薬局訪問してもOK。メール、FAXで連絡。相談するときはまず電話でアポを取る。 |
| | 薬局との積極的な関わり |
| | お薬のことで迷ったらまずは電話してみようと思います。 |
| | どんどん電話、FAXします。 |
| | 複数の医療機関の薬を一包化できることを利用者に提案し、薬剤師に依頼する。今後の利用者への情報提供(費用、外来服薬支援など) |
| | 薬局への相談 |

| | |
|---|---|
| 地域包括支援センター | 薬局にもっと電話してみよう。 |
| | 情報提供を行い、連携を図る。 |
| | 担当ケース、お薬手帳の内容を改めて確認しようと思いました。 |
| | 相談ごとがあれば迷わず連絡しようと思いました。 |
| | 利用者さんに薬剤師さんのことを伝えてみる。「薬の管理できるよ～余っている薬持っていってください」 |
| | 上手に専門職を活用すること。 |
| | 医師へ状況を伝える時に薬剤師さんを頼ることや家族にとっても間に入ってもらえることで安心だと思います。まずはちょっとしたことでも相談してみることだと思いました。 |
| | もっと連携が必要ですね。 |
| | 相談シート |
| | 薬剤師さんにもっと相談してみたい。 |
| 以前から比べるとハードルは下がってきているので、(忙しい時間を今度からさけて)わからないことは質問します。 | |

6.研修会の企画にあたりテーマや話し合いたいことの希望、やり方などのアイデア

| | |
|------|---|
| 調剤薬局 | お互いの仕事内容・サービスについて理解を深めたい。×2 |
| | 「かかりつけ薬剤師と担当薬剤師の違いは？」との質問があり、薬剤師としては当然知っている知識でも、他職種の方は知らなかったことがあった。 |
| | SGD(地域で必要だと感じるサービスについて) |
| | 医師へのアプローチ方法…とか？ |
| | 特にありません。お任せいたします。 |
| | 医師も呼んだらどうですか？ |
| | 薬の管理や在宅をしたいと考えているケアマネと在宅をしたいと思っている薬剤師を集めたものの会議がやってみたい。 |
| 居宅 | 独居と認知症とお薬の飲み方の相談とか |
| | 実際に服薬ロボなどのツールで実演してもらおう。 |
| 包括 | 服薬支援ロボのデモをしてほしいです！ |

7.その他

| | |
|----|---------------------------------------|
| 居宅 | ZOOM出席もできるようになると気軽に参加できるかと思います。 |
| 包括 | 大変勉強になりました。ありがとうございました。企画・準備お疲れさまでした。 |
| | お疲れさまでした。ありがとうございます。 |